



小さなことから、自分たちに出来ることを
～履かなくなった靴を発展途上国へ～



まるほ商事株式会社 × 履かなくなった靴

活動内容

靴の総合卸商社「まるほ商事株式会社」では、2019年から「まだ履けるけど履かなくなった靴」を回収し、発展途上国に送る活動を行っています。毎年2回開くガレージセールで靴の回収ボックスを設置しており、これまでに、計約1,750足の靴が集まりました。

集まった靴は、支援団体を通じてフィリピンやタイに送られ、現地で販売されることで子どもたちの支援や孤児院への寄附として活用されています。

その他にも、ガレージセールで政府配布のマスクを回収し、地域の公民館に寄附するなど、身近な地域の中でも活動しています。

活動するまでの流れ

きっかけは、福井青年会議所の会員としてSDGsの支援に向けて活動している中で、自社としても社会貢献活動に取り組むべきだと考えたこと。自分たちに出来る活動が何かを考え、「靴を回収する」というアイデアを試すこととなりました。

今までは、ガレージセールで靴を履き替え

ると、古い靴は捨てるのが当たり前だったけれど、少しのアイデアときっかけで、当たり前前に捨てられていたものが、今は発展途上国の子どもの支援につながっています。やろうと思えば、簡単に社会貢献活動が出来るということを実感しました。

これからの活動

活動を通して、今までうっすらとしたイメージだった「社会貢献」というものが、徐々に形になり、社内にも広がってきました。

まるほ商事の「まる」には、皆が円満に、という願いが込められています。今後、自社だけではなく皆がうまくいくよう、地域社会のために出来ることを続けていきたいと思えます。

方橋さんにとって
“社会貢献活動”とは？



どんなに小さなことからでもよく、誰にでも取り組めるものです。



▲方橋孝貴社長